

質疑応答

説明会概要

2022年2月14日（月）16:00-17:00

Zoom ウェビナー

機関投資家・アナリスト向け

質問 1. パッケージ基板(PKG)について、次世代 PKG に係るメックの影響。

回答 今後、次世代 PKG の量産が始まった場合、CZ の売上は拡大していくと考えている。

質問 2. 既存 PKG 向けの需要について。

回答 全ての PKG メーカーが生産設備投資をしており、既存 PKG の需要は好調に推移するものと思える。

質問 3. PKG メーカーの動向を見ると、もっと強気な数字でもと思うが。

回答 保守的だとは認識している。今後確実に PKG は増えると想定しており、既存工場の生産能力増強を行う。また、2025 年稼働を目途に日本国内に新しい生産拠点建設を検討している。

質問 4. 2022 年 12 月期の売上は 9%程度伸びる計画だが、利益がほぼ横ばいの理由。

回答 販管費の増加が主な理由。主に「人件費」「発送運賃」によるもの。また、原材料費も若干上がると予想している。

質問 5. 2022 年 12 月期も 2021 年 12 月期同様に 3 億円ほど人件費上昇するのか。

回答 そのとおり。

質問 6. 新たな国内の生産拠点について、場所や生産能力等回答できる範囲で教えてほしい。

回答 場所や生産能力等はまだ決まっていない。ただ、お客様のニーズに近い所。そして、既存工場は新潟県長岡市と兵庫県尼崎市にあるので、BCP の観点からも違う場所だという考えはある。